



主催：京都大学大学院地球環境学堂
 協賛：新学術領域「酸素生物学」、
 京都大学教育研究振興財団
 後援：森里海連環学教育ユニット

「第24回 京都大学地球環境フォーラム」

生物が空気環境を感じる意味

地球大気には様々なガス状・揮発性物質が含まれており、それらの物質は私たちの生存に必須の酸素を始めとして、大きな影響を生物に与えている。異なった生物種に焦点をあてながら、個々のガス状・揮発性物質のユニークな性質を紹介し、それらが果たす生物学的な役割について議論したい。

13:00 受付開始

開会の挨拶

◆ 13:30～13:40

講演

◆ 13:40～14:20

「動物にとっての酸素が持つ存外に微妙な意味」
 森 泰生(京都大学大学院 地球環境学堂 教授)

◆ 14:20～15:00

「アフリカの地下に住むハダカデバネズミ?老化耐性・がん化耐性の不思議?」
 三浦 恭子(北海道大学 遺伝子病制御研究所 講師)

◆ 15:00～15:10

休憩

◆ 15:10～15:50

「シロアリの社会構造の進化と化学コミュニケーション」
 松浦 健二 (京都大学大学院 農学研究科 教授)

総合討論

◆ 15:50～16:40

コーディネーター：清中 茂樹 (京都大学大学院 地球環境学堂 准教授)

閉会の挨拶

◆ 16:40～16:45



2016年2月6日(土) 13:30～16:45

京都大学 北部総合教育研究棟1階 益川ホール

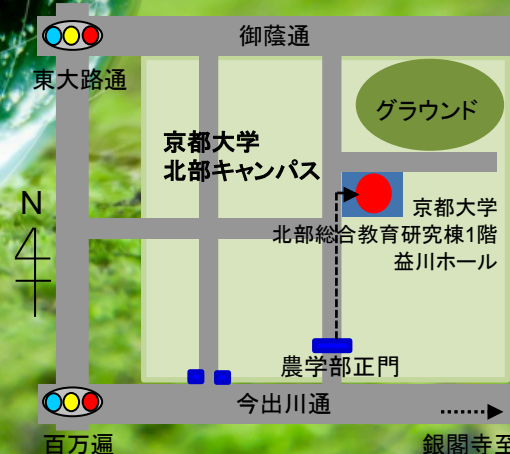
参加無料、先着170名まで(残席がある場合は当日参加受付可能)

参加を希望される方は、事前にWebもしくはファックスでお名前、ご所属(差支えなければ)を添えてお申し込みください。

＜京都大学地球環境フォーラム事務局：地球環境学堂＞

<http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/activities/seminar/global-environmental-forum/>

Tel: 075-753-5630 Fax: 075-753-9187



(注)講演者、講演内容などは事前の予告なく変更することがございます。